

令和 3 年度 公の施設の指定管理者における業務状況評価

施設名	七飯町精神障害者通所授産施設（ぼぼろ館）	所管課	福祉課
-----	----------------------	-----	-----

1 施設の概要

指定管理者名	社会福祉法人 ななえ福祉会
指 定 期 間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日
施 設 所 在 地	七飯町鳴川 5 丁目 3 4 8 番地 3

2 施設の利用状況

① 年間利用者数	就労継続支援 B 型 4, 2 2 3 人
② 利用者の意見等の 反映	家族会との交流会を実施し、意見・要望を聴取している。
	苦情受付件数：0 件
③ その他特記事項	コロナ禍により各種の販売会等は中止を余儀なくされたが、函館 蔦屋書店での販売やふるさと納税返礼品の売り上げ向上により、例 年通りの売り上げを確保した。

3 令和3年度業務評価

項目	評価	状況説明
① 適切な管理運営の確保	<p>Ⓐ</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>町（所管課）による評価において、80.0%の評価結果となった。</p> <p>コロナ禍の中、感染症拡大防止に努め、感染者を出すことなく適正に管理運営を行っていた。</p>
② 利用者サービス等の維持向上	<p>A</p> <p>Ⓑ</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>各利用者の方々のレベルにあった作業内容で日々の生産活動に携わっていただき、集中力、注意力、忍耐力、正確さなどを引き延ばすよう取り組んでいた。</p>
③ 利用実績	<p>A</p> <p>Ⓑ</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>利用者延べ人数は4,223人で、前年より16.7%減となった。</p> <p>自助会や共助会を開催し、話し合いの場を設けることで、通所回数が増えた利用者もいるが、コロナ禍が継続している中、全体的な利用回数は減っている。今後もできる限り登録者数及び利用実績の確保に努めていく。</p>
④ 現地調査	<p>Ⓐ</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>随時行っており、管理状況の把握を行っている。町に報告すべき問題等は発生しなかった。</p>
総合評価	<p>Ⓐ</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>コロナ禍によりこれまでとは違った運営を強いられる中、感染症対策を実施しながら可能な限り努力して指定管理業務を実施していた。</p> <p>今後も利用者のニーズに応えられるような適正な管理運営を期待する。</p>

- 【評価の目安】 A：仕様書及び事業計画書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B：概ね仕様書及び事業計画書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C：仕様書及び事業計画書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D：管理運営が適正に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの